

項目	内 容
受付日	2015年7月23日
質問	学生にとっての「自己啓発」とは何か知りたい。
<p>回答 具体的な回答を提示した場合は、その回答事項を記入。データ、事例などを提供した場合は、提供した資料名を記入。</p>	<p>— 図書 — (参考)</p> <p>◎『能力開発基本調査報告書 平成26年度』厚生労働省職業能力開発局総務課基盤整備室〔編〕 2015 発行</p> <p>◎『人事労務管理用語辞典』中條毅編 ミネルヴァ書房 2007/04/25 ほか</p> <p>—雑誌記事—</p> <p>◎『企業と人材 1012号 201402』産労総合研究所 「キャリア自律時代の自己啓発援助施策に関する調査(本誌調査)(特集 キャリア自律時代の自己啓発援助施策 I) p10～</p>
<p>回答プロセス 調査に使った手段・方法を順を追って記入。</p>	<p>当コーナーOPAC (URL:http://sv2.opac.jp/paop/cgi-bin/index.cgi?LibId=059td4q) で「自己啓発」をキーワードに全資料検索。図書のヒットはなく、雑誌記事で幾つかヒットしたので、雑誌記事を頼りに資料を探すこととした。</p> <p>・雑誌記事タイトル「賃金事情 No.2697」201506 産労総合研究所の「能力開発データ 2014年度 能力開発基本調査/教育訓練費用はOff-JT14,000円、自己啓発支援6,000円今後3年間の能力開発費用は増加の見込み—厚生労働省—(DATA)」から、『能力開発基本調査報告書 平成26年度』に自己啓発関連の調査があることを知り、まずは同書から「自己啓発」の定義(用語説明)を見ることにした。用語説明では「自己啓発」を「労働者が職業生活を継続するために行う、職業に関する能力を自発的に開発し、向上させるための活動を言う(職業に関係ない趣味や娯楽、健康増進のためのスポーツ等は含まない。)。としていた。</p> <p>その他の資料では辞典類から、『人事労務管理用語辞典』中條毅編 ミネルヴァ書房 2007/04/25、『人事・労務用語辞典 第6版』日経連事務局編著 2001、『労働用語辞典』労働省編 1997 に「自己啓発」の説明が載っていることが分かった。</p> <p>・次に自己啓発の内容について調べることにした。雑誌記事『企業と人材 1012号 201402』産労総合研究所「特集 キャリア自律時代の自己啓発援助施策」に、各社の自己啓発援助策が具体的に示されていた。支援内容として、語学研修、公的資格取得、留学制度、TOEIC、簿記、書籍購入、通信教育、勉強会、講習参加などが列挙されていて、各企業ではこれらを「自己啓発」と捉えていることが分かった。</p> <p>ただし、上記資料は何れも「職業人」にとっての自己啓発について書かれたもので、「職業人」を「学生」に置き換えてよいのかどうかはわからない。</p>
調査種別	事実調査
質問者区分	社会人